

平成27年度「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」 まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム

県内就職率の向上

26%(H26年度)→36%(H31年度目標)

雇用創出

27人(5年間)

全学的な
地域協働教育の実施

県内就職希望者数の増加

学生と企業の 最適な マッチングの成 立

企業の雇用創出力と採用意欲の向上

5th preparation phase 地域と“協働する” (選択)

準正課 人間関係形成インターンシップ(SBI)、
コラボ考房プロジェクト(地域課題解決協働実践コース)
共同実施

正課 共通教育;長期社会協働インターンシップ(CBI)等

Start-up phase 地域に“根付く”
【1st ~ 4th preparation phaseを経た学生】

認証制度
COC+システム認証制度
「地方創生推進士」

- 県内への就職を希望する学生のみ取得挑戦資格を有す
- 教育プログラム開発委員会により資格審査

4th preparation phase 地域を“体験する”

準正課 土佐FBCグローバルプログラム、社長インターンシップ
(計4企業)、UBCインターンシップ(計4地域)、
海外インターンシッププログラム(高知工科大学)
共同実施

正課 専門教育;各学部で対象科目設定
単位互換

3rd preparation phase 地域と“会う”

準正課 土佐FBC、土佐MBA、ココプラ、土佐まごこと社中、
えんむすび隊(計2地域)
共同実施

正課 専門教育;各学部で対象科目設定
単位互換

地域に興味・関心を持った学生に対する特別プログラム

2nd preparation phase 地域を“もっと知る”

正課 共通・専門教育;各学部で対象科目設定
単位互換

1st preparation phase 地域を“知る”
全学および各学部必修地域関連科目

正課 共通教育;課題探求実践セミナー(2単位必修)
共通教育;4単位 選択必修



入学前支援
preliminary phase 県内での学びの魅力を“伝える”
→中学・高校向け進学ガイダンス

学生の県内就職志向の強化
卒業生の県外流出率7割以上



ポートフォリオ の活用

大学での学び、
学生の社会への
対応性を判定する
ための質の高い
資料の提供

教育プログラ ムと雇用創出 プログラムの 連携による 相乗効果



社会人養成講座
への受講による
社会勉強と、企
業における学生
の理解促進

- ① 地域資源である“食”を更に魅力化すると共に、観光人材育成によりあらゆる地域資源の県外・海外への展開を図る。
- ② SBIなど協働型人材育成プログラムを利用して社内教育にも寄与し、一方で、既存企業だけでは生まれにくいイノベーション創出のため、起業マインドを持った人材育成と起業検証支援を行う。
- ③ 大学と地元企業等との更なる産学官連携を促進し、企業の活性化に資することで雇用創出を促す。

産学官連携雇用創出支援事業
「地方創生推進士」を採用した企業との雇用創出に資する産学官連携事業の実施に係る大学等の研究開発費を補助金により支援。

雇用創出研究経費
高知県の重要課題を解決することを目的とした研究費支援。雇用創出の視点を加え更に改良する。

産学官連携事業の支援

起業
本格的起業支援へアプライ
事業構想検証支援
場所(サテライト教室)と
資金の提供
事業構想ブラッシュアップ
起業マインド醸成セミナー

大学シーズや学生等による
ノウハウやアイデア段階の
構想を起業に結び付ける
ための各種支援事業。

人間関係形成インターンシップを活用した、受入先企業の若手社員の自律化支援

人間関係形成インターンシップ(SBI)の社員向け支援プログラム

実習前 実習中 実習後

目標設定塾
マナー研修会

目標、日報、チェックシート、
面談、中間モニタリング

目標設定総括塾
振り返り報告会

若手社員の自律化支援事業

地域の観光まちづくりを主導的に推進していく能力の育成

- ①マーケティング力・マネジメント力・実践力
- ②ファンリレーション力・チーム形成力
- ③情報収集分析力・企画力
- ④発信力・プレゼンテーション能力

国家戦略プロフェッショナル検定
「食の6次産業化プロデューサー(LEVEL1~3)」
研修機関認定

JETRO高知連携 海外販路開拓支援
「土佐FBCグローバルプログラム」開始

各事業のPDCAサイクルを回し、平成30年度 土佐FBCⅢ
(仮称)事業へと繋げる

土佐FBC倶楽部
修正生同窓会組織

Aコース 座学160時間+実験技術40時間+
現場実践学40時間+課題探求1年間

Bコース 座学160時間+
実験技術又は現場実践学40時間

Cコース 座学160時間

選択受講コース 座学80時間
企業研修コース 座学40時間

食品産業人材育成事業 土佐FBC

企業の採用力強化の支援
都道府県別有効求人倍率
第45位(0.82)

H27年度
開始

H29年度
開始

H28年度
設置準備

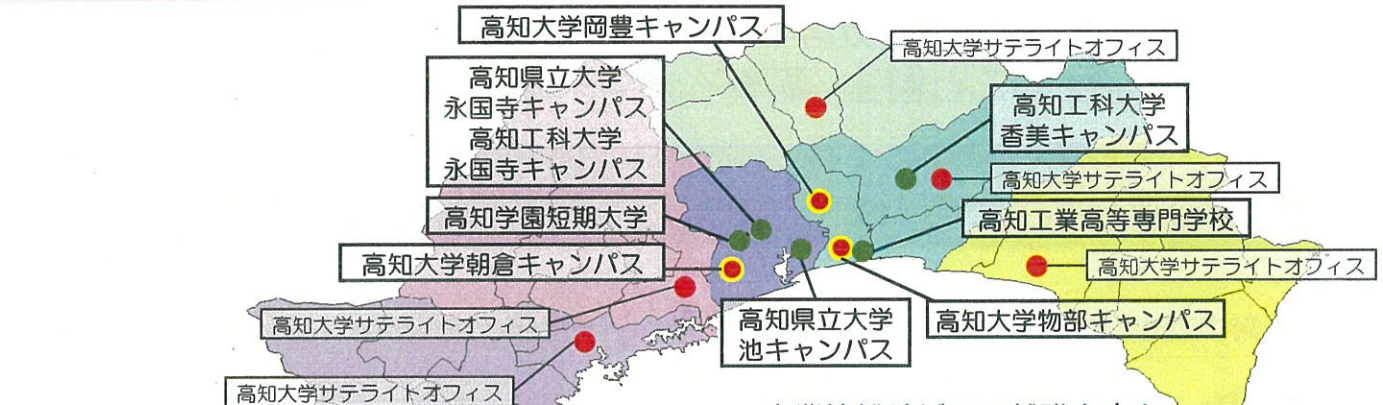
H27年度
実施

H30年度
開始

H29年度
試行

H27,28年度
設置準備

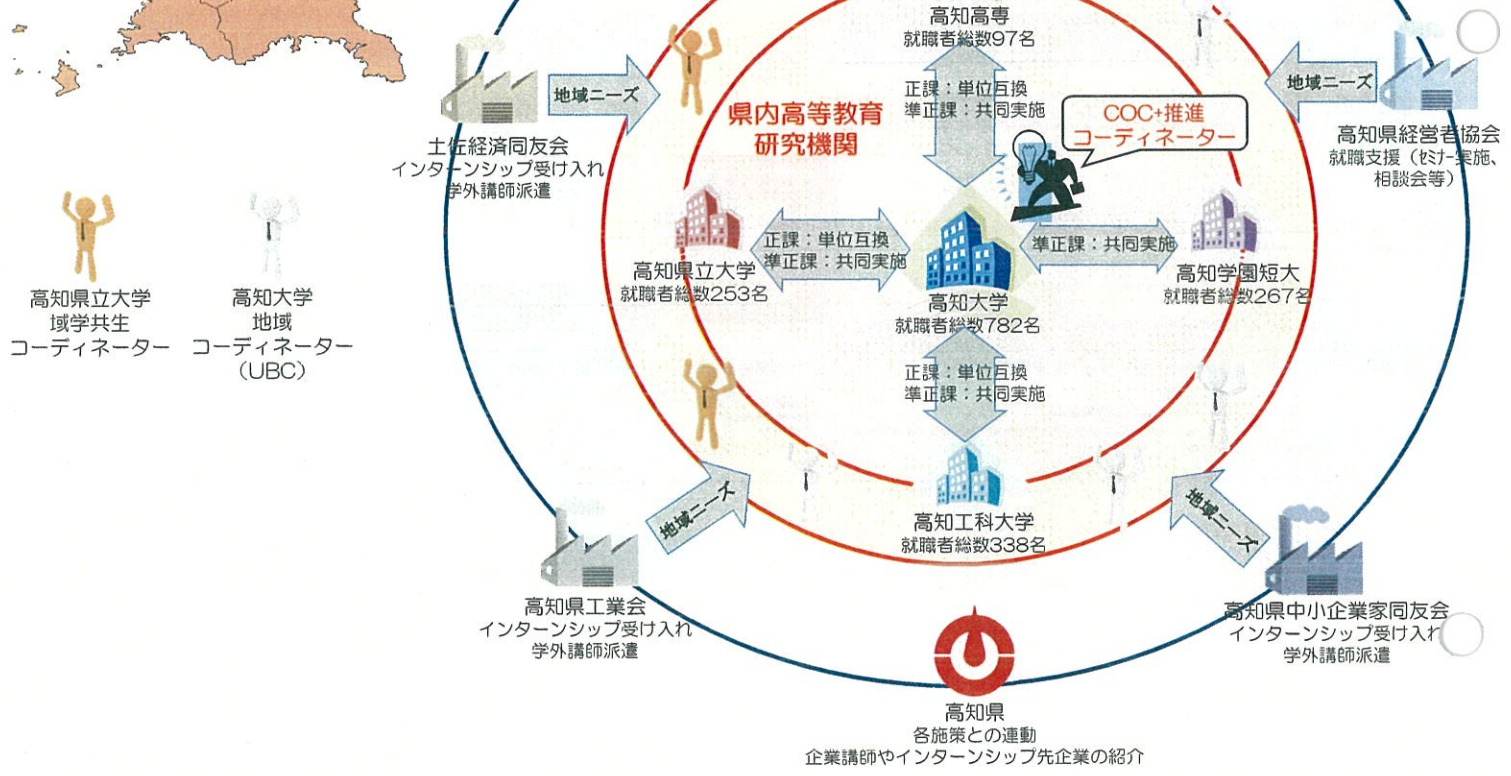
新規事業
H28年度
開始



事業協働地域への就職率向上
企業等の雇用創出支援

高知大学サテライトオフィス

「地方創生推進士」の輩出
産業人材育成事業の実施



高知県立大学
域学共生
コーディネーター

高知大学
地域
コーディネーター
(UBC)



文部科学省

地(知)の拠点

まちひと・しごと創生
高知イノベーションシステム

平成30年度「地(知)の拠点大学による
地方創生推進事業(COC+)」

こうち観光カレッジ開講式 基調講演

高知が選ばれ続ける ために必要なこと

テーマ

～先進地域の経営に学ぶ～

講師：山田桂一郎氏

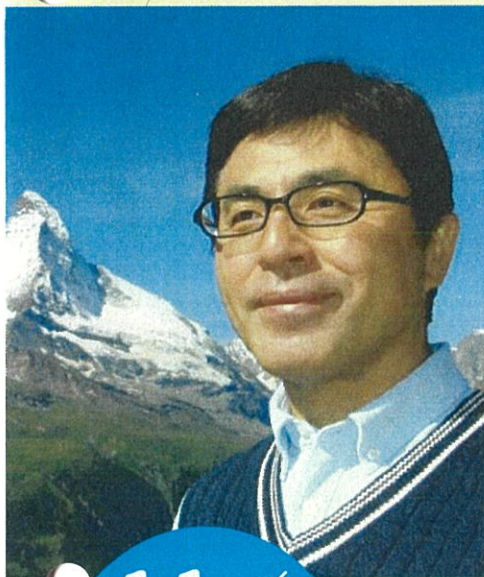
JTIC SWISS 代表 著書：藻谷 浩介氏と共著「観光立国の正体(新潮新書)」

世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広めるカリスマ、山田桂一郎氏を講師に迎え、高知の観光が選ばれ続けるために必要なことを語っていただきます。

2005年に観光カリスマ(内閣府・国土交通省(観光庁)・農林水産省認定)：「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広めるカリスマ」として、これまでのヨーロッパを中心とした環境保全と世界各地における滞在プログラム・ツアーの実施と観光・集客交流の事業化、マーケティングの経験を活かし、観光・地域振興に関する講演やセミナーの講師として全国各地から招聘されている。また、日本国内でも地域振興のコンサルタントとして様々な事業化を進め、多方面で積極的に事業活動を展開し、多くの実質的な成果と結果を残す。民間企業やNPO法人の他にも多くの省庁や地方自治体の委員、プロデューサー、コーディネーター、アドバイザーを務め、大学や高等教育機関でも教鞭をとっている。近年は観光庁「訪日観光セミナー」講師、ミシュラン・グリーンガイドの取材コーディネーターも行う。2011年には週刊日経ビジネス誌において「次代を創る100人」の一人として選出された。

欧州では、ヨーロッパ・アルプス並びにスイス全土に渡る取材・撮影のコーディネーター、ライター、ビデオカメラマン、通訳としても活動。冬は、現地で唯一の日本人スキー教師、夏は、ハイキング、トレッキングガイドでもある。

スポーツに関しては、山以外でもセーリング(ヨット)競技の元国体選手であり、パラグライダーで空も飛ぶ。陸海空の全てをフィールドとしている。



11/7
水

時間：13:30～14:30

会場：高知大学朝倉キャンパス メディアの森6F

基調講演は一般参加可能です。

平成30年度

こうち観光カレッジ受講生 募集中!



お問い合わせ先 国立大学法人 高知大学 地域連携推進センター

〒780-8073 高知市朝倉本町2-17-47 TEL.088-844-8293

E-Mail. kt10@kochi-u.ac.jp

受講無料

応募締切

10月30日(火)

詳しくは裏面へ

こうち観光カレッジ受講生 募集中!

こんな方に!

観光施設で働いている方

自治体の観光担当の方

地域の観光資源を磨きたい方

観光地域づくりを学びたい方

観光ビジネスで成功したい方



こうち観光カレッジとは?

こうち観光カレッジは地域づくり、組織づくりの観点に特化した、中核的な観光人材を育成するプログラムです。地域の観光まちづくりを主導的に推進していく能力を育成します。

1. マーケティング力・マネジメント力・実践力
2. ファシリテーション力・チーム形成力
3. 情報収集分析力・企画力
4. 発信力・プレゼンテーション能力

観光地域づくり
現場実習

観光マネジメント・
観光マーケティング
講座

観光で
成果をあげる
現場で
スキルアップ!

フィールドスタディ

受講生のニーズに合わせて自社外へのフィールドスタディを設定する機会はありません。
現場実践に重きを置き、新たな視点を得る機会となります。

受講から修了までのイメージ

観光地域づくりの最上級を知るためのフィールドスタディにより、国内外のトレンドの実践的理解と対応を習得します

- 面接
・意欲と課題を講座事務局が面接により確認、受講許可
- 受講
・実践者および学識者による講義で課題実践のための知識を習得
- ・受講生の課題に適合する先進事例へのフィールドスタディと複数回の振り返り学習

修了
観光地域づくり人材として修了認定、実践者として活動するとともに修了生ネットワークを構築

カリキュラム 11月7日～1月20日まで

- 11/7 基調講演・開講式
ディスカッション
- 11/11 講義「インバウンド」
- 11/17～18 観光地域づくり現場実習
- 12/1 講義「地域学」
観光企画ブラッシュアップ
- 12/8 講義「観光地域づくり体制構築・DMO/DMC」
講義「ファシリテーション・リーダーシップ」
- 12/15 講義「ネット活用戦略」
観光企画ブラッシュアップ
- 12/22 講義「観光地域デザイン」
- 1/19 講義「ケースメソッド」
講義「観光地域ブランディング」
- 1/20 講義「ケースメソッド」

〈こうち観光カレッジ応募資格〉・数年以内に実施したい企画があること・カリキュラムの3分の2以上に出席可能な方
〈その他推奨される資格〉・マネジメントやマーケティング、会計・財務、データ分析に基づく戦略検討などの基礎知識がある
・土佐MBA、土佐の観光創生塾、地方創生カレッジ等の受講生



お申込方法

お問い合わせ先

受講申請書と事業企画案をご提出いただきます
詳しくは下記へお問い合わせください

国立大学法人 高知大学 地域連携推進センター

〒780-8073 高知市朝倉本町2-17-47 TEL.088-844-8293 E-Mail. kt10@kochi-u.ac.jp

応募締切
10月30日(火)

こうち観光カレッジ受講生（所属）

番号	所属
1	馬路村（魚梁瀬地区）地域おこし協力隊
2	(有) パッケージ高知
3	高知大学医学部附属病院医事課
4	土佐清水市観光ボランティア会
5	志国高知幕末維新博 運営支援事務局
6	高知市(公営事業課)
7	(一社) 高知サマサマ CCRC センター
8	高知広告センター 幕末維新博会場 中岡慎太郎館ガイド
9	(株) 森田 土佐まほろば観光
10	株式会社 村の駅ひだか
11	高知大学地域協働学部
12	高知市役所観光振興課
13	高知大学地域協働学部
14	無所属
15	一般社団法人土佐市観光協会
16	一般社団法人土佐市観光協会
17	高知広告センター
18	土佐清水市企画財政課(地域おこし協力隊)
19	株式会社相愛
20	高知大学土佐さきがけプログラム
21	公益社団法人生態系トラスト協会

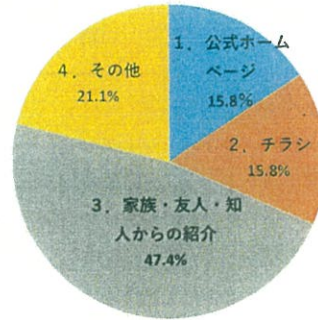
平成30年度 こうち観光カレッジ 受講生アンケート調査

H30.11.7

回答率17/21(80.9%)

質問1. 今回のこうち観光カレッジが開催されることを何で知りましたか。
(複数回答可)

項目	回答数	割合
1. 公式ホームページ	3	15.8%
2. チラシ	3	15.8%
3. 家族・友人・知人からの紹介	9	47.4%
4. その他	4	21.1%
合計	19	100.0%



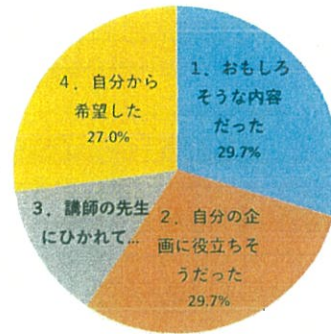
3具体的に ・岡林雅士

・龍馬学園 佐竹理事長

4 その他 ・高知県産学官民連携センターからのメルマガ
・まちづくり塾のHPから
・TMS
・教員から

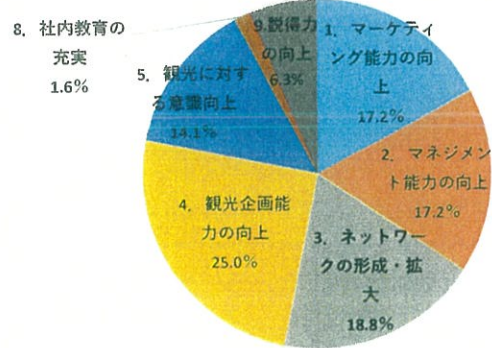
質問2. こうち観光カレッジを受講した動機を教えてください。
(複数回答可)

項目	回答数	割合
1. おもしろそうな内容だった	11	29.7%
2. 自分の企画に役立ちそうだった	11	29.7%
3. 講師の先生にひかれて	5	13.5%
4. 自分から希望した	10	27.0%
5. 職場などで勧められた	0	0.0%
合計	37	100.0%



質問3. どんなところにこうち観光カレッジ受講の成果が出ると期待しますが
(複数回答可)

項目	回答数	割合
1. マーケティング能力の向上	11	17.2%
2. マネジメント能力の向上	11	17.2%
3. ネットワークの形成・拡大	12	18.8%
4. 観光企画能力の向上	16	25.0%
5. 観光に対する意識向上	9	14.1%
6. 同僚・社内の意識改革	0	0.0%
7. 売上の増加	0	0.0%
8. 社内教育の充実	1	1.6%
9. 説得力の向上	4	6.3%
10. 提言の実施	0	0.0%
11. その他	0	0.0%
合計	64	100.0%



質問4. その他、ご意見等(観光への提案も)ありましたらお願いいたします。

- ・龍馬パスポートのカード化!!
- ・特にインバウンドに関しての知識を習得したいと思います。商品・プランの売り方、広め方、告知手法を特に学べればと思っています。
- ・観光カレッジの受講を通じて、県内山間部への海外からのアグリツーリズム(農業体験)の企画立案に役立てたいと思います。
- ・お話は面白かったのですが、自分の受容能力が低く、ついていけなかった。しっかり勉強しないとお仲間としてダメになりそうです。頑張ります。
- ・山田桂一郎氏の講義を終盤の企画プレゼン段階でもやってほしいです。あまりにもマーケティングの知識がなくて、質問が稚拙ですみません。

地方創生推進士認証者リスト

2018.12.14更新

認証番号	認証時期	大学等名	学部	学科	就職先
1	平成28年度後期	高知大学	人文学部	社会経済	高知県内
2	平成28年度後期	高知大学	人文学部	社会経済	高知県内
3	平成29年度前期	高知工科大学	マネジメント学部		高知県内
4	平成29年度前期	高知大学	地域協働学部		
5	平成29年度前期	高知大学	理学部	理学	高知県内
6	平成29年度後期	高知大学	地域協働学部		
7	平成29年度後期	高知大学	人文学部	社会経済	高知県外
8	平成29年度後期	高知大学	人文学部	人間文化	
9	平成29年度後期	高知大学	地域協働学部		
10	平成29年度後期	高知大学	地域協働学部		
11	平成29年度後期	高知大学	地域協働学部		
12	平成29年度後期	高知大学	地域協働学部		
13	平成29年度後期	高知大学	地域協働学部		
14	平成29年度後期	高知大学	地域協働学部		
15	平成29年度後期	高知大学	地域協働学部		
16	平成29年度後期	高知大学	地域協働学部		
17	平成29年度後期	高知大学	地域協働学部		
18	平成29年度後期	高知大学	地域協働学部		
19	平成29年度後期	高知大学	人文学部	国コミ	高知県内
20	平成29年度後期	高知大学	地域協働学部		
21	平成29年度後期	高知大学	地域協働学部		
22	平成29年度後期	高知大学	地域協働学部		
23	平成30年度前期	高知大学	地域協働学部		
24	平成30年度前期	高知大学	地域協働学部		
25	平成30年度前期	高知大学	地域協働学部		
26	平成30年度前期	高知大学	地域協働学部		
27	平成30年度前期	高知大学	地域協働学部		
28	平成30年度前期	高知大学	地域協働学部		
29	平成30年度前期	高知大学	地域協働学部		

高知の未来を担う人財を、共に育みませんか。

高知県高校生地域創生士ラストミーティング開催！

～想い～ 私たちは確信します！

地域に向き合い、地域と連携した学びの実践は、高校生にとって生き方・考え方に大きな気づきを与える貴重な教育機会であり、郷土愛と意欲・自信に満ち溢れた若者の育成に繋がるものと確信します。さらに、若者が地域社会に入り、地域が次代を担う若者を育てるスパイラルは、地域社会の持続可能な発展にとって不可欠と言えます。何故なら、本気で地域に向き合った実践と経験、熱い想いと強い行動力をもつ若い人財は、将来にわたって地域の伝統や風習を未来に引き継ぐとともに、地域社会に貢献しようとする企業にとっても組織力・活力の源になると考えるからです。

高校生地域創生士ラストミーティング

日時 平成30年7月14日(土) 11:45~15:30
会場 高知工科大学永国寺キャンパス A213 講義室

<ミーティングメニュー(予定)>

11:30~	受付
11:45	開会・挨拶(日程等説明)
11:50~14:05	プレゼン(エントリー高校生)
14:15~14:55	グループワーク・報告
15:00~15:30	講評・認証授与

参加・観覧のご希望は
下記担当までお願いし
ます。



「高知県高校生地域創生士」は、地域に向き合い実践を通じて著しい成長をし、実践体験から将来も地域に貢献したいと本気で願う高校生について、その熱意と成長・成果や意欲を3カ年の実践活動に照らして証するものです。

そのスタートの今年も、これまで県内で魅力的な地域連携学習を実践している4つの高校(山田高校・安芸桜ヶ丘高校・伊野商業高校・高知商業高校)が参画します。

(未来創造教育会議は、4校の実務担当者で構成します。)

将来的には、県内の全ての専門科高校・地域連携学習を通じた人材育成を志向する高校の全てを対象として、本気の高校生を認証するビジョンを掲げ推進します。

主催：高知県高校生地域創生士実行委員会(高知県経営品質協議会 高知県インターンシップ研究会 未来創造教育会議)

共催：高知工科大学地域教育支援センター

後援：高知県教育委員会(予定)

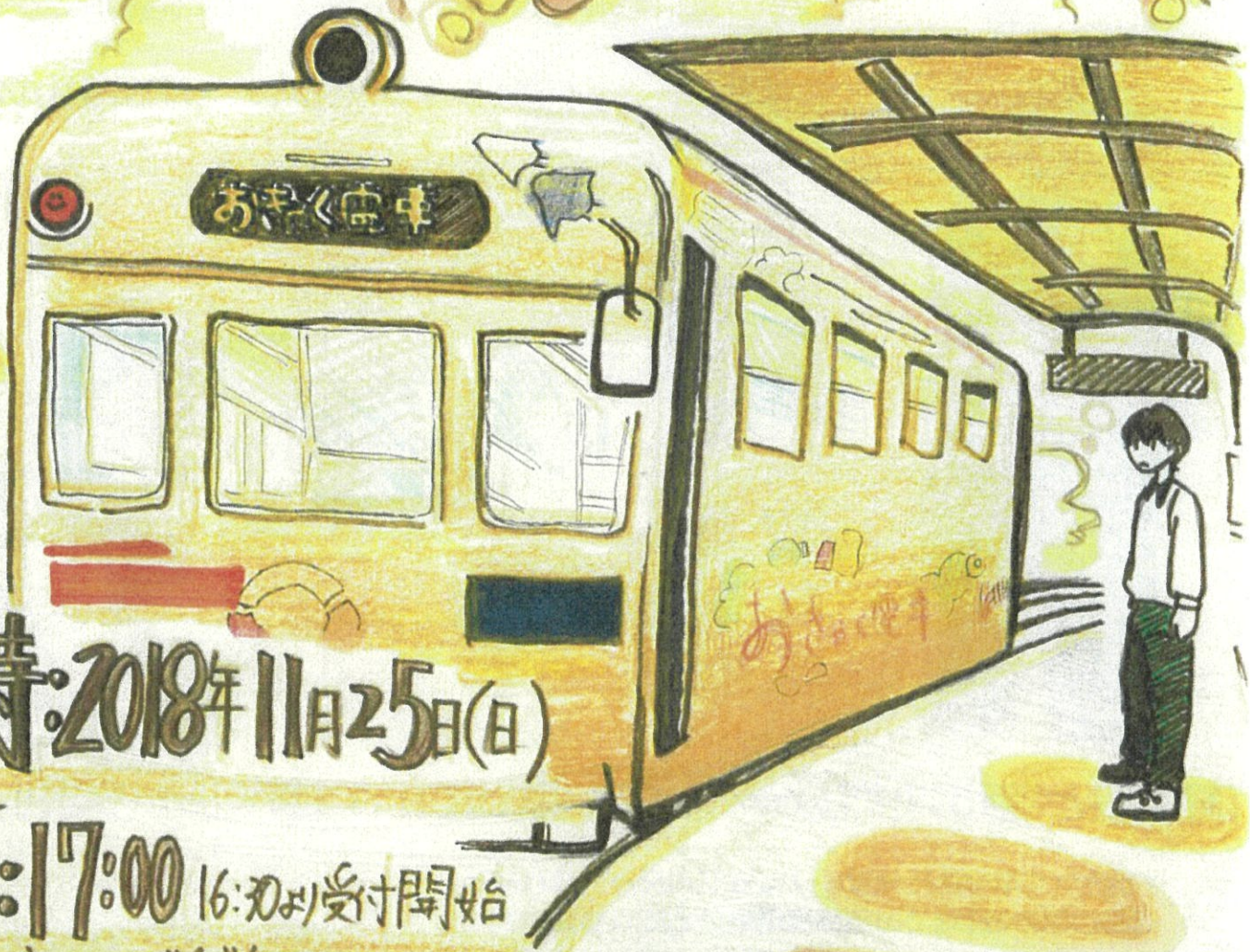
連絡先：未来創造教育会議 金子 電話 0887-35-2020(安芸桜ヶ丘高校内)

おきゃく電車が社長呑み!

熱い思いを抱いた高知の経営者と
おきゃく電車で語り合いませんか?

1

学生の
みなさん!!



日時: 2018年11月25日(日)

集合: 17:00 16:30より受付開始

(場所: 高知大学学術情報基盤図書館)

解散: 20:30 予定

(場所: 高知大学総合研究棟一階ロビー)

参加費: 無料 (申込み
は
こちら)

お問い合わせ: 090-7646-1884 (担当: 立野 雄一郎)



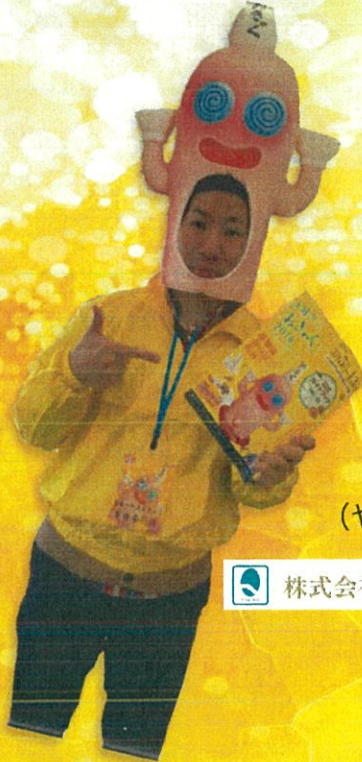
「おきゃく電車で社長呑み！」に参加する熱い経営者ら5名



依光 晃一朗
(よりみつ こういちろう)



三谷 剛平
(みたに こうへい)



矢野 貴久
(やの たかひさ)



吉本 大輔
(よしもと だいすけ)



仲井 邦宏
(なかい くにひろ)



経営者と“呑んで”“しゃべって”“歌って！？”盛り上がりましょう！

おきゃく電車運行会社の「とさでん交通」社員から、
高知の観光資源である路面電車のお話も聞けます！
(予定)



お申込み・問い合わせ

・QRコードまたは、URLよりお申込みください。

<https://form.run/@syatyo-nomi>



<https://form.run/@syatyo-nomi>

検索

申込締切：2018年11月23日(金)

・メールでもお申込みできます。お問い合わせはこちら。

✉ a.smile.contact@gmail.com
高知大学 (担当：立野雄二郎)

・学部学科・名前・生年月日・メールアドレス・電話番号
をご記入のうえ、ご連絡ください。

平成 29 年度 高知大学学部卒業生就職状況について

目 的

平成 27 年度に文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択された「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム」では、高知大学が代表校となり参加大学、高知県及び経済団体とともに連携し取り組んできている。

本事業では、学生の県内就職率の向上と雇用創出がメインの成果として求められ、事業計画を立て目標値達成を目指し実施している。

今回、平成 29 年度の高知大学学部卒業生（平成 29 年 3 月の卒業生）の就職状況を精査し、卒業生の出身地と就職地の状況の現状を学部別に明らかにすることにより、東京都へ流出する学生数の算出や、東京都以外への流出、学生がそれぞれの地元で就職する数についての算出を行うことで、出身地と就職地の状況について結果と考察をまとめてみた。

方 法

本学就職室から提供のあった平成 29 年度の高知大学学部別就職状況の個別データから、出身地と就職先の都道府県を抽出し、人数とともに一覧表にまとめた。

まとめた表はマトリックス化して彩色し、分かりやすく示した。

結果と考察

・県内出身者の県内就職者数 ①

高知県内出身者（197 名）の県内就職者数は 146 名で 74.1%に達している。

・県外出身者の県内就職者数 ②

県外出身者（631 名）の県内就職者数は 68 名で 10.8%となっている。

・Uターン就職率 ③

学部卒業生（828 名）のうち出身地を就職先に選ぶ卒業生は 432 名となって、卒業生全体に占める Uターン就職率は 52.2%となった。

・四国出身者の四国就職者数

四国 4 県出身者（354 名）の四国内就職者数は 269 名で 76.0%になる。

高知県以外の四国 3 県出身者（157 名）の県内就職者数は 25 名で 15.9%である。

・東京都出身者以外の東京都就職者数 ④

東京都出身者以外（821 名）の東京都就職者数は 76 名で、9.3%という結果である。

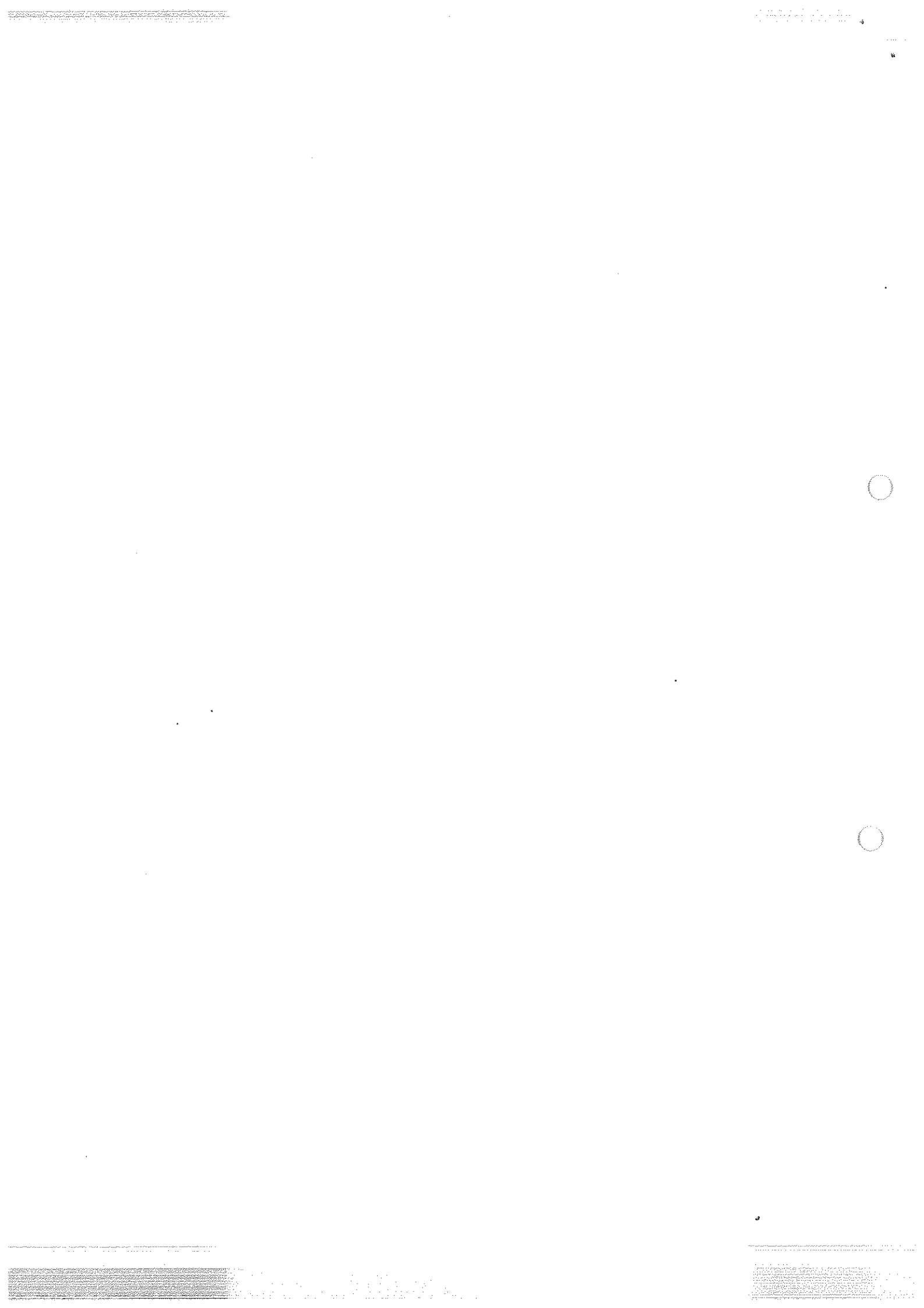
⇒上記の結果をふまえて、高知大学の学生はそれぞれの出身地で就職する割合が半分ほどであって、なかでも高知出身の学生は地元就職の傾向がより強いと分かった。

ゆえに、地方の人口流出を防いで地方創生をはかっていくためには、地方の大学に同じ地域出身の入学生を多く受け入れることが有効で、高知県の人口減少を食い止めていくためには大学入学以前の小中高の段階から高知大学として働きかけを強めることができるのではないだろうか。

平成29年度学部卒業生就職等進路状況（平成30年5月1日現在）

全学部

区分	卒業生		就職希望者		就職者内訳				県内就職率 (%)	前年度比較 (%)	29/5/1 データ			前年度増減			
	県内出身者	県外出身者	企業等	公務員	教員	県内		県内就職率			就職希望者	就職希望者のなかの県内出身者	県内就職者	就職希望者	就職希望者のなかの県内出身者		
						企業等	公務員										
計	275	86	238	62	228	60	40	18	2	25.2%	▲0.6	248	69	64	▲10	▲4	
人文学部	122	28	107	24	101	23	15	6	2	21.5%	▲3.2	97	28	24	10	▲4	▲1
	153	58	131	38	127	37	25	12	0	28.2%	1.8	151	41	40	▲20	▲3	▲3
教育学部	176	46	149	47	149	47	12	2	33	31.5%	▲4.2	151	55	54	▲2	▲8	▲7
	79	15	64	16	64	16	2	1	13	25.0%	▲2.6	76	22	21	▲12	▲6	▲5
	97	31	85	31	85	31	10	1	20	36.5%	▲7.5	75	33	33	10	▲2	▲2
理学部	264	52	182	33	175	40	21	9	10	22.0%	3.1	164	37	31	18	▲4	9
	182	32	121	19	116	25	11	6	8	20.7%	1.0	107	28	21	14	▲9	4
	82	20	61	14	59	15	10	3	2	24.6%	7.0	57	9	10	4	5	5
医学部	168	49	159	53	159	53	44	8	1	33.3%	▲10.5	169	74	74	▲10	▲21	▲21
	77	17	73	25	73	25	19	6	0	34.2%	▲10.8	71	32	32	2	▲7	▲7
	91	32	86	28	86	28	25	2	1	32.6%	▲10.3	98	42	42	▲12	▲14	▲14
農学部	169	23	115	15	111	14	7	6	1	12.2%	▲5.0	128	23	22	▲13	▲8	▲8
	88	11	63	8	60	7	2	4	1	11.1%	▲6.5	68	13	12	▲5	▲5	▲5
	81	12	52	7	51	7	5	2	0	13.5%	▲3.2	60	10	10	▲8	▲3	▲3
土佐さきがけプログラム	14	2	6	0	6	0	0	0	0	0.0%	▲9.1	11	1	1	▲5	▲1	▲1
	6	0	1	0	1	0	0	0	0	0.0%	▲20.0	5	1	1	▲4	▲1	▲1
	8	2	5	0	5	0	0	0	0	0.0%	0.0	6	0	0	▲1	0	0
合計	1,066	258	849	210	828	214	124	43	47	25.2%	▲3.0	871	259	246	▲22	▲49	▲32
	554	103	429	92	415	96	49	23	24	22.4%	▲3.8	424	124	111	5	▲32	▲15
	512	155	420	118	413	118	75	20	23	28.1%	▲2.1	447	135	135	▲27	▲17	▲17



全国シンポジウム

見える大学 魅せる大学

参加無料

〈申込締切〉

2月1日(金)

定員/500名

2019年

2月19日(火) 13:30~17:45

会場：高知県立県民文化ホール(グリーン) 高知市本町4丁目3-30

14:25 基調講演

「人口減少日本で キラリ輝く大学」

〈ジャーナリスト〉

「未来の年表」著者

高知大学 客員教授

河合 雅司 氏



プロフィール

1963年、名古屋市生まれ。産経新聞社論説委員、高知大学客員教授、大正大学客員教授。専門は人口政策、社会保障政策。中央大学卒業。現在、厚労省検討会委員、農水省第三者委員会委員、日本医師会「赤ひげ大賞」選考委員なども務める。内閣官房有識者会議委員、内閣府有識者会議委員、拓殖大学客員教授などを歴任。2014年に「ファイザー医学記事賞」の大賞を受賞。2018年、NPO法人ひまわりの会「ひまわり褒章」の個人部門賞受賞。『未来の年表』（講談社現代新書）は、『未来の年表2』（同）との累計で75万部（2018年11月25日現在）を突破するベストセラーとなる。『未来の年表』シリーズ以外にも『未来の呪縛』（中公新書ラクレ）、『日本の少子化 百年の迷走』（新潮社新潮選書）など数多くの著書がある。

15:40 パネルディスカッション

「大学の見える化と 魅せる化」

●パネリスト

株式会社 ヒワサキ 相談役 日和崎 二郎 氏

富山大学 地域連携推進機構 教授・戦略室長 金岡 省吾 氏

高知県産業振興推進部 副部長 澤田 博睦 氏

グーグル合同会社 広告営業本部新規顧客開発部 アカウントエグゼクティブ 木村 安寿 氏

株式会社第一コンサルタンツ 地方創生推進士 岩瀬 誠司 氏

※18:30より希望者による情報交換会を行います。
ご希望の方は参加費5,000円を頂戴いたします。

【会場】三翠園ホテル「富士の間」

2月20日(水) 9:00~11:40

会場：高知商工会館 高知市本町1丁目6-24 「事例発表会」※事例発表会の詳しい内容は【裏面】をご覧ください。

【主催】高知大学 【共催】高知県立大学、高知工科大学、高知工業高等専門学校、高知学園短期大学、高知県

【後援】(予定)総務省、高知労働局、高知市、高知市長会、高知県町村会、高知県産業振興センター、高知県観光コンベンション協会、高知県経営者協会、土佐経済同友会、高知県工業会、高知県中小企業家同友会、高知県商工会議所連合会、高知県商工会連合会、高知県中小企業団体中央会、(株)高知銀行、(株)四国銀行、一般社団法人高知県情報産業協会、高知県社会福祉協議会、放送大学高知学習センター、NHK高知放送局、KSSさんさんテレビ、KUTVテレビ高知、高知ケーブルテレビ(株)、(株)FM高知、高知新聞社・RKC高知放送、朝日新聞高知総局、産経新聞社高知支局、日本経済新聞社高知支局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、共同通信社高知支局

〈第1部〉プログラム

2月19日(火) 13:30~17:45

会場：高知県立県民文化ホール(グリーン)
高知市本町4丁目3-30

13:30 開会挨拶……………高知大学学長 櫻井 克年

13:40 開催地挨拶

13:50 文部科学省挨拶

14:25 基調講演

「人口減少日本で
キラリ輝く大学」

ジャーナリスト・「未来の年表」著者……………河合 雅司 氏
高知大学客員教授

パネルディスカッション

「大学の見える化と魅せる化」

●ファシリテーター

高知大学 次世代地域創造センター……………副学長・センター長 受田 浩之

●パネリスト

株式会社ヒワサキ……………相談役 日和崎 二郎 氏

富山大学 地域連携推進機構……………教授・戦略室長 金岡 省吾 氏

高知県産業振興推進部……………副部長 澤田 博睦 氏

グーグル合同会社……………広告営業本部新規顧客開発部
アカウントエグゼクティブ 木村 安寿 氏

株式会社第一コンサルタンツ……………地方創生推進士 岩瀬 誠司 氏

●コメンテーター

ジャーナリスト・「未来の年表」著者……………河合 雅司 氏
高知大学客員教授

文部科学省

17:40 閉会挨拶

18:30 情報交換会

希望者のみ三翠園ホテルに移動して行います。
希望者は参加費：5,000円を頂戴いたします。
【会場】／三翠園ホテル「富士の間」

●問い合わせ先



次世代地域創造センター
地方創生推進室

TEL.088-844-8293 E-mail:kt10@kochi-u.ac.jp



文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」
COC/COC+事業

少子高齢化やグローバル化の進展に伴い、多様化する社会ニーズに対応するため、全国の大学が機能別分化や組織改革を進めてきた。COC+事業においても特徴ある教育プログラムや大学組織体制の構築が実現し、全国で様々な教育・研究実績が積み重ねられてきている。一方、近年の大学運営を巡る困難な状況の中、大学は“選ばれる大学”にならなければならない。教育・研究の実績と成果は“見える化”し、更に“魅せる”ことで、大学の訴求力が向上し、“選ばれる”ことで志願者数増加や産学官民協働の発展に繋がる。本シンポジウムでは、これまでのCOCやCOC+の実績を踏まえ、地域の生産性の向上、若者の定着を促進するとともに、日本全国や世界中から学生が集まるような地方大学づくりの推進について議論する。

〈第2部〉プログラム

2月20日(水) 9:00~11:40

会場：高知商工会館 高知市本町1丁目6-24

9:00 開会

事例発表

徳島大学
「地方創生産官学コンソーシアム
とくしま(仮称)構想について」 徳島大学副理事
(COCプラス担当) 玉 真之介 氏

信州大学
「ユニバーシティエンゲージメントを
進める信州アカデミア構想」 信州大学キャリア・
教育サポートセンター 副センター長 林 靖人 氏

岩手大学
「“若者が輝く”ことを目指す
『ふるさといわて創造プロジェクト』の取組」 岩手大学長特別補佐・
特任教授 小野寺 純治 氏

共愛学園前橋国際大学
「COC+事業における
地域人材育成について」 共愛学園前橋国際大学
COC+推進コーディネータ 奥山 龍一 氏

11:35 閉会挨拶

●申し込み方法

下記のアドレスからアクセスし
申込フォームに必要事項を入力ください。

<http://www.kochi-cocplus.jp/>